

(案)

作業仕様書

1 日常清掃

(1) 床清掃

ア ビニールタイル、磁器タイル、フローリング等の床は、隅は自在ぼうき、広い場所はフロアダスター（ダストモップ）又は自在ぼうきで丁寧に掃き、集めたごみは塵芥処理場に搬出すること。

また、ビニールタイル、磁器タイル等の床は、床全体又は汚れが目立つ部分をモップで水拭きをすること。汚れが著しい場合は適正洗剤を用いて汚れを取り除くこと。フローリング等の床は、固く絞ったモップ又は中性洗剤を含ませた後、絞ったモップで汚れを拭き取ること。

なお、O Aフロアについては、床下への水の滴下に留意すること。

イ じゅうたん床は、真空掃除機で丁寧に埃を取り除くこと。

ウ 床材の区分にかかわらず、机、脇机、ロッカー、裁断機、FAX機器、複写機、電源への接続のある電気機器など移動困難な什器・備品等の床部分は、清掃を省略できるものとする。

(2) ごみ箱

ごみを収集し、塵芥処理場に搬出すること。容器の外面で汚れた部分は、タオルで水拭き及び乾拭きをすること。

また、段ボール及び使用済みトナー容器について、業務担当員の指示する場所に運搬すること。

(3) 扉・便所面台のへだて（便所・洗面所）

汚れた部分は、水拭き又は適正洗剤を用いて拭くこと。

(4) 洗面台及び水栓（便所・洗面所）

スポンジで適正洗剤を塗布し、洗浄の上、タオルで拭くこと。

(5) 鏡（便所・洗面所）

適正洗剤を用いて乾拭きすること。

(6) 衛生器具（便所・洗面所）

適正洗剤を用いて洗浄し、拭くこと。同時に金属類も拭くこと。

(7) 衛生消耗品（便所・洗面所）

トイレットペーパー、水石鹼、ビニルごみ袋、便座クリーナー用ディスペンサーの薬剤等を補充すること。

(8) 汚物容器（便所・洗面所）

内容物を収集し、塵芥処理場に搬出すること。容器の外面で汚れた部分は、タオルで水拭き及び乾拭きをすること。

(9) 流し台（給湯室）

中性洗剤を用いてスポンジたわしで丁寧に洗浄し、タオルで拭くこと。

(10) 厨芥容器（給湯室）

茶がら入れ等の厨芥を収集し、塵芥処理場に搬出すること。容器を適正洗剤で洗浄すること。

(11) エレベーター壁、扉、操作盤

汚れた部分は、水拭き又は適正洗剤で拭くこと。

(12) エレベーター扉溝

真空掃除機で塵を取り除くこと。

(13) 手摺り（階段）

タオルで水拭き又は適正洗剤を用いて拭くこと。

(14) 机上清掃

机・テーブル等の埃を払い、タオルで水拭きすること。

(15) ポリバケツ

塵芥処理場のポリバケツを洗浄すること。

2 日常巡回清掃

(1) 床

ビニールタイル、磁器タイル等の床は、汚れ、水滴等が付着した部分をモップで拭くこと。

なお、OAフロアについては、床下への水の滴下に留意すること。

(2) 洗面台（便所・洗面所）

汚れた部分は、タオルを用いて拭くこと。

(3) 鏡（便所・洗面所）

汚れた部分は、タオルを用いて拭くこと。

(4) 衛生器具（便所・洗面所）

汚れた部分は、適正洗剤で洗浄し、拭くこと。

3 定期清掃

(1) 床の洗浄

ア ビニールタイル等の床は、自在ぼうき、フロアダスター（ダストモップ）、真空掃除機で丁寧に埃を取り除き、床に付着している汚れを適正に希釈した表面洗浄用洗剤を用いて床磨き機により皮膜表面の汚れを洗浄し、水拭きを行って汚水や洗剤分を完全に除去した後、床樹脂維持剤を塗布すること。

なお、OAフロアについては、床下への水、表面洗浄用洗剤及び床樹脂維持剤の滴下に留意すること。床材の区分にかかわらず、机、脇机、ロッカー、裁断機、FAX機器、複写機、電源への接続のある電気機器など移動困難な什器・備品等の床部分は、清掃を省略できるものとする。

イ 磁器タイルの床は、自在ぼうき、フロアダスター（ダストモップ）、真空掃除機で丁寧に埃を取り除き、床に付着している汚れを適正に希釈した表面洗浄用洗剤を用いて床磨き機により汚れを洗浄し、水拭きを行って汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させること。

ウ カーペット床は、真空掃除機で丁寧に埃を取り除いた後、カーペット床全面を洗

浄し、丁寧に汚れを除去すること。

エ フローリングの床は、自在ぼうき、フロアダスター（ダストモップ）、真空掃除機で丁寧に埃を取り除き、床に付着している汚れを適正に希釈した木製床専用の表面洗浄用洗剤を用いて皮膜表面の汚れを洗浄し、拭きを行って汚水や洗剤分を完全に除去した後、床保護材を塗布すること。

（２）床の樹脂維持剤剥離作業

自在ぼうき、フロアダスター（ダストモップ）、真空掃除機で丁寧に埃を取り除き、剥離剤を用いて床磨き機により洗浄し、剥離状況を点検の上、水洗い、水拭きを行い、十分に乾燥させること。

なお、OAフロアについては、水・剥離剤の滴下に留意すること。移動困難な什器・備品等の床部分は、剥離作業を省略できるものとする。

また、作業の実施に伴い発生した廃液は、関係法令に基づき処理すること。

（３）天井の除塵

はたきより埃を取り除くこと。

（４）壁の部分拭き

汚れた部分は、水又は適正洗剤を用いて拭くこと。

（５）照明器具（蛍光灯）

適正洗剤を用いて管球、反射板、カバー等を拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない部分は、更に適正洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きすること。